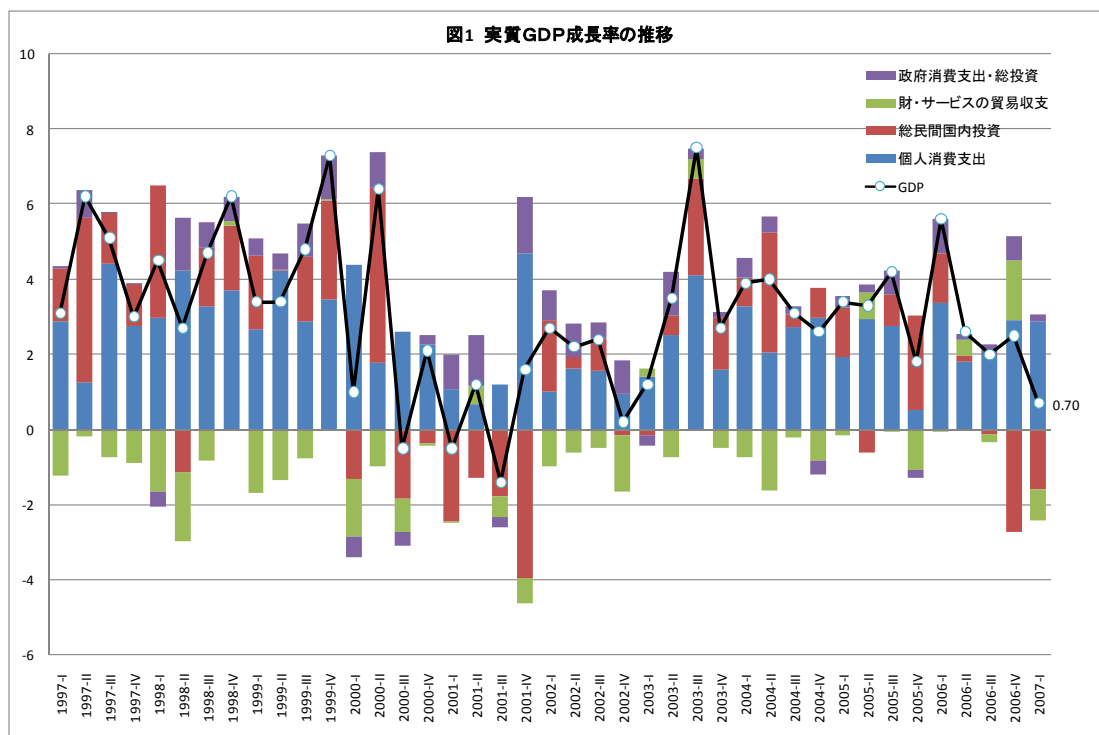


米国経済点描（2007. 06. 29）

～2007 年第 I 四半期実質 GDP 成長率～

6 月 28 日、米国商務省経済分析局（B E A）は 2007 年第 I 四半期の実質 GDP の確報値を公表した。第 I 四半期の実質経済成長率は、先月公表された暫定値では年率 0.6% であったが、貿易収支等が見直された結果、確報値では同 0.7%と 0.1%だけ上方修正された。第 I 四半期の経済成長は、堅調な民間消費支出が牽引し、政府支出が後押ししたその多くを、民間在庫投資、住宅投資、貿易収支が相殺した形となっている（図 1 参照）。

経済成長を第一に支えている民間消費支出の伸びを、人口の伸び、一人当たり可処分所得の伸び、貯蓄率の変化に要因分解すると、昨年（2006 年）の民間消費支出の年率 3.2%の内訳は、人口増の寄与が 0.9%、一人あたり可処分所得の増加が 1.6%、貯蓄率の低下が 0.7%であった。貯蓄率は 2005 年第 II 四半期以降マイナスで推移し、また 2006 年後期以降にやや改善がみられることから、一段の貯蓄率低下は考えにくく、消費の伸びは可処分所得の伸び次第であり、労働需給動向を注視したい。



○お問合わせ先○

株式会社アクシスリサーチ研究所 〒107-0052 東京都港区赤坂渡辺ビル 4 F
TEL 03-5572-7770 FAX 03-5572-7771 E-mail contact@axis-research.co.jp